

「牛歩戦術」を禁止することはできないのでしょうか？」

平成 30 年 12 月 12 日

●フクロウさんからの質問

昨日、国会中継を見ていましたところ、久しぶりに「牛歩戦術」をとる議員の先生を見ました。ご本人は真剣なんでしょうし、決して茶化すつもりはないのですが、一体、何の意味があるのだろうかと思います。こういった行為を与野党を超えて禁止することはできないのでしょうか。と言いますのも、牛歩といえば、約 30 年程前の湾岸戦争時の国会を思い出します。あの時、国家の重要な意思決定が組織だった牛歩戦術によって、とんでもなく遅れてしまい、国益を損なったのではと思うからです。他の質問者様に比べて、ゆるい質問かもしれませんが、ご回答いただければ幸いです。宜しくお願いします。

●西田昌司の答え

私も、牛歩戦術なるものは全く意味がないと思います。

かつて、牛歩戦術のせいで倒れた人もいました。本来、採決中は議場閉鎖をしていますから議場から出られないのですが、お手洗いに行きたくてどうしようもないというので人道的な見地に立って議長席の後ろから抜け出させるといったこともありました。

今回、山本太郎議員が牛歩戦術をとりましたが、議長が 1 分以内に投票しないと投票箱を閉鎖すると警告したために渋々投票しました。彼は投票の直前、演壇の上から与党席に向かって「(法案に) 賛成する者は二度と保守と名乗るな！保守と名乗るな！官邸の下請け！経団連の下請け！竹中平蔵の下請け！この国に生きる人々を低賃金競争に巻き込むのか？世界中の低賃金競

争に！恥を知れ！二度と保守と名乗るな！保身と名乗れ！保身だ！」と絶叫するパフォーマンスを見せ付けましたが、このような行動は私も感心しません。

今国会は徹夜国会となりましたが、自民党議員が途中で倒れるというアクシデントがありました（大事には至らなかったようですが）。また、野党の先生も倒れて怪我をしてしまったために車いすの世話になるという話もありました。牛歩戦術を野放しにしておく、仕舞いには誰かが死んでしまいます。

国会は言論の府ですから、言論で勝負しなければなりません。そのような場でパフォーマンスを見せ付けるなどは国民を馬鹿にしているとしか言いようがありません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>